２０２４年４月入学

広島大学大学院人間社会科学研究科（博士課程前期）

学生募集要項

人文社会科学専攻	国際平和共生プログラム 国際経済開発プログラム
教 育 科 学 専 攻	国際教育開発プログラム

［一般選抜］［社会人特別選抜］［フェニックス特別選抜］

２０２３年１０月

広 島 大 学

人間社会科学研究科アドミッション・ポリシー

人間社会科学研究科では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養とともに，人文科学，社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人

②幅広い教養とともに，人文科学，社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人間社会科学研究科は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

人文社会科学専攻では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養とともに，人文科学や社会科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人

②幅広い教養とともに，人文科学や社会科学，及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

教育科学専攻アドミッション・ポリシー

教育科学専攻では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養とともに，教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人

②幅広い教養とともに，教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

教育科学専攻は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

国際平和共生プログラムアドミッション・ポリシー

国際平和共生プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養と共に，平和学，政治学，法学，文化人類学，地域研究のいずれかに関連する学問領域，あるいはそれらの融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け，多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために，国際人としての共感を持って，多国籍の人々とコミュニケーションを取ることができ，連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人

②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し，企業，国際機関，国際協力機関，国際協力NGO，地元自治体などでの経験を踏まえ，大学院での学修や研究活動を通して，研究者や高度な専門的職業人としての資質，能力の獲得を目指す人

国際平和共生プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

国際経済開発プログラムアドミッション・ポリシー

国際経済開発プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い関心を持って，開発途上国が直面するグローバルな諸問題に挑みたい人

②健全な経済開発に資する社会科学研究を志向する人

③国際人としての共感を持って，多様な人々と協働できる人

国際経済開発プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

国際教育開発プログラムアドミッション・ポリシー

国際教育開発プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養と共に，教育学に関連する学問領域，あるいはその融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け，多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために，国際人としての共感を持って，多国籍の人々とコミュニケーションを取れ，連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人

②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し，企業，国際機関，国際協力機関，国際協力 NGO，地元自治体などでの経験を踏まえ，大学院での学修や研究活動を通して，研究者や高度な専門的職業人としての資質，能力の獲得を目指す人

国際教育開発プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

※広島大学は，2020 年 1 月からキャンパス内全面禁煙です。
（霞キャンパスでは，2018 年 4 月から全面禁煙となっています）。
※広島大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では，被災者の経済的負担を軽減し，志願者の進学機会の確保を図るため，令和 5 年度に実施する本学の入学者選抜において，入学検定料の免除措置を実施することとしましたので，お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は，出願前に必ず以下の「8 問い合わせ先」までご連絡ください。

1 免除措置の対象となる入学者選抜

令和 5 年度に実施する本学の学部，大学院及び専攻科入試

（再入学，転学及び編入学に係る選考を含みます。）

2 措置内容

入学検定料の免除

※ 入学試験成績の開示に係る手数料も，免除の対象となります。

3 免除の対象となる災害

(1) 令和元年 8 月 28 日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※ 入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は，当該災害救助法適用日から 5 年を経過する日までの間に出願期間の最終日が設定されているものに限ります。

4 免除の対象者

「3 免除の対象となる災害」において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で，次のいずれかに該当する方

(1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊，大規模半壊又は半壊した場合

(2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は，次の内閣府ホームページでご確認いただけます。

https://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

5 申請方法

事前に「8 問い合わせ先」に連絡した後，所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお，この場合は，出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

6 申請書類

(1) 検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロード）

https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058

(2) り災証明書（写し可）　（上記 4 の(1)に該当する方）

(3) 死亡又は行方不明を証明する書類（写し可）　（上記 4 の(2)に該当する方）

7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載の PDF ファイルを参照してください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/186130/menjo_r4_ver2.pdf

8 問い合わせ先

人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）

〒739-8529　東広島市鏡山一丁目5番1号

TEL：(082)424-5902

I. プログラム及び募集人員

本学生募集要項は，国際平和共生プログラム，国際経済開発プログラム，国際教育開発プログラムに関する試験日程，選抜方法等の詳細を掲載したものであり，本学生募集要項の選抜における募集人員は，下表の「募集人員」欄のとおりです。

※感染症等の影響により試験期日や選抜方法が変更される可能性があります。変更内容については本学ホームページ等で公表します。

2024年4月入学

専攻	プログラム	募集人員	問合せ・出願書類提出先
人文社会科学	国際平和共生	若干名	〒739-8529　東広島市鏡山一丁目 5 番 1 号 国際協力学系支援室 TEL：(082)424-5902 E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
	国際経済開発		
教育科学	国際教育開発		

II. 出願資格

各選抜の出願資格は，次のとおりです。

- **一般選抜**

◇次の各号のいずれかに該当する者又は 2024 年 3 月 31 日までに取得見込みの者。
◇出願資格 9 又は 10 により出願しようとする者は，事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

1．日本の大学を卒業した者
2．学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3．外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
4．外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
5．我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6．外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
7．専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
8．文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
9．学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者で，その後に入学させる本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
10．本学大学院において，個別の入学資格審査により，日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22 歳に達したもの

- **社会人特別選抜**

◇次の各号のいずれかに該当する者又は 2024 年 3 月 31 日までに取得見込みの者で，入学時までに民間企業又は国際機関・政府機関・自治体・教育機関等において正規の社員・職員・教員として 2 年以上の社会経験があり，かつ，国際協力に関わる分野において 1 年以上の経験を有するもの。
◇事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

1．日本の大学を卒業した者
2．学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3．外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
4．外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
5．我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6．外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
7．専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
8．文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
9．本学大学院において，個別の入学資格審査により，日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22 歳に達したもの

- **フェニックス特別選抜**

◇学位取得を目指す概ね 60 歳以上の者で，次の各号のいずれかに該当するもの又は 2024 年 3 月 31 日までに取得見込みのもの。
◇事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

1．日本の大学を卒業した者
2．学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3．外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
4．外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
5．我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6．外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
7．専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
8．文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
9．本学大学院において，個別の入学資格審査により，日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

出願資格事前審査について

「一般選抜（出願資格 9 又は 10）」，「社会人特別選抜」及び「フェニックス特別選抜」の出願者については，次のとおり事前審査を行います。

事前審査の対象者は，人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）へ申請書等の用紙を請求してください。

（１） 事前審査書類提出期間

2023 年 12 月 4 日から 12 月 8 日　17 時まで（必着）

（２） 事前審査提出書類

◇各証明書は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は，原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい）が証明した写し(Certified Copy））を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は，合格・入学を取り消します。

選抜，出願資格の種類		必要提出書類
一　般　選　抜	（出願資格 9）	①　事前審査申請書（所定様式を使用） ②　履歴書（所定様式を使用） ③　学部及び大学院の学業成績証明書 ④　大学院の在学証明書又は修了証明書
	（出願資格 10）（注）	①　事前審査申請書（所定様式を使用） ②　履歴書（所定様式を使用） ③　大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2 枚程度，所定様式を使用） ④　最終学歴の学業成績証明書 ⑤　最終学歴の卒業証明書 ⑥　所属長による研究経歴の証明書（研究経歴のある者）
社会人特別選抜	（出願資格 9）	①　事前審査申請書（所定様式を使用） ②　履歴書（所定様式を使用） ③　大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2 枚程度，所定様式を使用） ④　最終学歴の学業成績証明書 ⑤　最終学歴の卒業証明書 ⑥　所属長等の証明書（所定様式を使用）
	（出願資格 9 以外）	①　事前審査申請書（所定様式を使用） ②　履歴書（所定様式を使用） ③　所属長等の証明書（所定様式を使用）
フェニックス特別選抜	（出願資格 9）	①　事前審査申請書（所定様式を使用） ②　履歴及び志望理由・活動報告書（所定様式を使用） ③　大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2 枚程度，所定様式を使用） ④　最終学歴の卒業証明書
	（出願資格 9 以外）	①　事前審査申請書（所定様式を使用） ②　履歴及び志望理由・活動報告書（所定様式を使用）

（注）一般選抜の出願資格 10 について，中国（台湾，香港，マカオを除く）の大学を卒業（修了）した，あるいは卒業（修了）見込みの者は，6 頁の注 1）を参照すること。

（３） 事前審査書類提出先

〒739－8529　東広島市鏡山一丁目 5 番 1 号

広島大学大学院人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）

郵送の場合は書留とし，封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。

（４） 事前審査結果の通知

事前審査結果については，2023 年 12 月 14 日に通知します。

III．出願手続

1．出願方法

インターネット出願及び出願書類の提出により出願できます。

① インターネットにより，志望情報等を入力する。

② **入学検定料 30,000 円を支払う。**(国費外国人留学生及び入学検定料免除の特例により出願する者を除く)

③ 出願書類を持参又は郵送する。

（注意）インターネット出願は，インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途，出願書類等が所定の期日までに到着するように持参又は郵送する必要があります。

2．出願期間

上記出願方法の①，②，③の全てを期間内に終える必要があります。

2024 年 1 月 5 日から 1 月 12 日　17 時まで（必着）

なお，③で郵送する場合は，書留郵便で 1 月 12 日 17 時必着とし，これ以降に到着した場合は 1 月 10 日までの消印があるものに限り受理します。

3．インターネット出願

◆システムに関する問合せ先

インターネット出願ヘルプデスク（日本語対応のみ） 受付時間：10:00から18:00まで （4月～7月末日までの土・日・祝及び年末年始（12月30日~1月3日）を除く） 電話番号：03-5952-3902
UCARO事務局（日本語対応のみ） 受付時間：10:00から18:00まで（12月30日～1月3日を除く） 電話番号：03-5952-2114

○入試に関する不明点等は，「I. プログラム及び募集人員」(1頁）の問合せ・出願書類提出先に問い合わせてください。

受付時間 8:30から17:00まで（土日祝日を除く）

※電話番号については，市外局番が同じ地域がありますが，以下の地域については，市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

（広島市，安芸郡府中町，海田町，熊野町及び坂町の各地域）

出願期間内に，次の8つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報
https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi

Step 2:UCAROログイン画面から「UCARO会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。
UCAROについては，以下のURLを参照してください。
https://www.ucaro.net/

Step 3:（入学検定料が免除される出願のみ該当）アカウントを入力

国費外国人留学生及び入学検定料免除の特例による出願の場合は，入力前に「I.プログラム及び募集人員」（1頁）の「問合せ・出願書類提出先」に問い合わせた後に，本研究科から通知する8桁以上の英数字を入力してください。

Step 4: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って，氏名，住所，電話番号，メールアドレス等を入力してください。

※ 入力いただいた個人情報は，入学試験の実施及び選考，合格の通知及び発送，入学手続書類の送付，入学前後の案内の送付，入試統計データの作成，学生証の作成，学籍データの作成，入学検定料の収納等で利用しますので，正確な情報を入力してください。

Step 5: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。

※ 出願時にアップロードされた写真は，受験時の本人確認のため使用するほか，入学後の学生証及び本学の教務システムでも卒業（修了）まで使用します。このため，入学後にも使用可能な写真のアップロードを推奨します。なお，写真アップロード後の差し替えはできません。
入学後に学生証の内容(写真や姓名の漢字表記)を変更する場合は，1,000 円の手数料が必要です。

Step 6: 入学検定料（30,000 円）の支払い

「決算情報を入力」の画面で，次の中から支払方法を選択してください。

1. クレジットカード：VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS，Diners Club
2. コンビニエンスストア：セブンイレブン，ローソン，ミニストップ，ファミリーマート，デイリーヤマザキ，セイコーマート
3. 金融機関 ATM 【Pay-easy】
4. ネットバンキング

（注意）

・入学検定料の他に，1 回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料は，志願者負担となります（インターネット出願システム手数料の金額は出願時に表示されます。）。

・出願受付後はいかなる理由があっても，既納の入学検定料は返還しません。
なお，次の（1），（2）の場合は，既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので，「出願番号」，「ふりがな」，「氏名」，「電話番号」，「住所」，「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上，2024 年 2 月 29 日までに「I. プログラム及び募集人員」（1 頁）の「問合せ・出願書類提出先」に郵送してください。
ただし，いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。
（1）出願書類を提出しなかった，又は受付されなかった場合
（2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 7: 出願情報の登録完了

出願番号（6 桁）が表示されるので，メモしておいてください。

Step 8: 出願書類の持参又は郵送

提出又は送付先は，「I. プログラム及び募集人員」（1 頁）の「問合せ・出願書類提出先」をご覧ください。
出願書類を持参する場合は，出願期間の 8：30 から 17：00 まで受け付けます。ただし，土曜日，日曜日及び祭日は受け付けません。
郵送の場合は，書留とし，1 月 12 日必着としますが，これ以降に到着した場合は，1 月 10 日までの消印があるものに限り受理します。
また，封筒表面に「人間社会科学研究科〇〇プログラム願書在中」と朱書きしてください。

４．出願書類

◇インターネット出願をした後，次の書類を一括して，出願期間内に 1 頁の「出願書類提出先」へ提出してください。なお，**出願資格事前審査で提出済の場合は，再提出不要**です。

◇各証明書（語学検定試験の成績証明書を除く）は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は，原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい）が証明した写し(Certified Copy)）を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は，合格・入学を取り消します。

提出書類	提出該当者	摘　　要
履　歴　書	全　　員	A4・1 枚程度（所定様式を使用）
試験科目届	国際平和共生プログラム，国際教育開発プログラムの志願者（ﾌｪﾆｯｸｽ特別選抜志願者は除く）	（所定様式を使用）
研究計画書	全　　員	具体的な研究内容について日本語又は英語で作成したもの。A4・2 枚程度（所定様式を使用）
志望理由書	全　　員（ﾌｪﾆｯｸｽ特別選抜志願者は除く）	A4・1 枚程度（所定様式を使用）
国際協力に関する論文	社会人特別選抜志願者	国際協力に関する自己の実践記録及び展望・考え方について，A4・4 枚程度にまとめたもの。（所定様式を使用）
	フェニックス特別選抜志願者	

提出書類	提出該当者	摘　　要
学業成績証明書	全　　員 （ﾌｪﾆｯｸｽ特別選抜志願者は除く）	出身大学長（学部長）が作成し，厳封したもの。 ※大学院在学中の者あるいは修了者は，大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※学業成績証明書に成績評価基準の説明がない場合は，別途評価基準を説明した出身大学発行の書類を提出すること。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	全　　員	出身大学長（学部長）が作成したもの。 ※大学院在学中の者あるいは修了者は，大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※外国の大学を卒業（修了）した者は，証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。 ※中国(台湾，香港，マカオを除く)の大学を卒業（修了）した，あるいは卒業（修了）見込みの者は，注１）を参照すること。
受験承諾書	大学院在学者	現に他の大学院に在学している者は，本学大学院受験についての在学大学長（研究科長）の承諾書を提出すること。
	民間企業又は国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職する者	現に民間企業又は国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職している者で，現職のまま本学大学院に入学しようとするものは，本学大学院受験についての所属長の承諾書を提出すること。
日本国政府（文部科学省）奨学金証明書	国費外国人留学生	国費外国人留学生（日本国政府奨学金）は必ず提出すること。
日本語検定の成績証明書	日本語を選択する者 （フェニックス特別選抜志願者は除く）	日本語能力試験，日本留学試験の「日本語」，中国とマレーシアで実施する「外国政府派遣留学生等に対する予備教育の修了試験」又は実用日本語検定（J.TEST）のいずれか一つの成績証明書を提出すること。（**入学試験日から過去２年以内に受験したものが望ましい。**）
英語検定の成績証明書	英語を選択する者 （日本人学生は英語を選択しなければならない。） （フェニックス特別選抜志願者は除く）	TOEIC 公開テスト(L&R), TOEFL-iBT, TOEFL-PBT, TOEFL-CBT，IELTS 又は実用英語技能検定等のいずれか一つの成績証明書を提出すること。（**入学試験日から過去２年以内に受験したものが望ましい。**英語を第一言語とする者は提出不要。）
在留カードの写し	外国籍の志願者	出願の時点で日本国内に在住する外国籍の志願者は必ず提出すること。（両面コピー）
受験票返送用封筒	全　　員	定形封筒（長形３号 12 ㎝×23.5 ㎝）に郵便番号，住所，氏名を明記し，94 円切手を貼ったもの。（直接持参する場合も提出すること。）

※所定様式は HP からダウンロードしてください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs/m-kokusainyuushi%20

注１）中国（台湾，香港，マカオを除く）の大学を卒業（修了）した，あるいは卒業（修了）見込みの者は，以下全ての書類を提出すること。
・既卒者：　a. 毕业证书　及び　学士（硕士）学位证书
　　b. 学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）
・卒業（修了）見込者：a. 卒業（修了）見込証明書
　　b. オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)
上記のうち，書類 b は中国教育部認証システム(中国高等教育学生信息网 https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp) より取得すること。なお，発行手数料は志願者が負担すること。また，提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認すること。

注２）日本語又は英語の検定試験成績証明書を提出できない場合にのみ，大学において英語による教育課程を卒業した旨の大学発行の証明書提出で替えることができる。

注３）提出書類のうち英語又は日本語以外によるものは日本語又は英語の訳を付し，原本と訳の両方を提出すること。

注４）GRE(General Test)を受験した者は，成績証明書を提出してください。（提出は必須ではありません。）※成績証明書は，出願期間内に ETS より直接広島大学に送付されるよう手配してください。（機関コード：2358）ただし，受験者本人へ送付された成績証明書も受け付け可とします。

５．その他

① 受付後の記載内容の変更は，認めません。
② 原則として出願書類は返還しません。
③ 出願受付後は，いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。
④ 出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別，その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は，学生支援関係（奨学金申請，授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。
なお，個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，コンピュータ処理をするため，関連業務を外部の事業者に委託することがあります。
⑤ 受験科目等で疑問がある場合は，あらかじめ人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）に相談してください。
⑥ 志願者は，志望するプログラムの教員に事前に相談をすることが望ましい。なお，志望する指導教員と連絡がとれない場合は，1 頁の「問合せ先」まで連絡してください。
⑦ 受験票は，出願手続完了後に郵送します。2024 年 1 月 31 日までに到着しない場合は，人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）に連絡し，受験に必要な指示を受けてください。

IV．受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は，次の事項を記載した申請書（様式は定めません。）を人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）に提出し，相談してください。

１．相談の時期：2023 年 12 月 4 日から 12 月 8 日まで

２．申請書の記載内容

① 志願者の氏名，住所，連絡先電話番号
② 出身大学名，出願予定のプログラム
③ 障害等の種類・程度（現に治療中の者は，医師の診断書を添付してください。）
④ 受験上の配慮を希望する事項
⑤ 修学上の配慮を希望する事項
⑥ 出身大学でとられていた特別措置
⑦ 日常生活の状況

V．入学者選抜方法

学力検査（筆記試験及び口述試験）の結果を総合して選考します。ただし，「フェニックス特別選抜」は，筆記試験を免除します。

１．学力検査

（１）筆記試験（専門科目）

人文社会科学専攻

選抜の区分 ＼ 試験科目	一般選抜，社会人特別選抜			ﾌｪﾆｯｸｽ特別選抜
	プログラム	科　　目	指導教員	
専　門　科　目	国際平和共生	平和構築論	片柳　真理	筆記試験免除（事前に提出された履歴及び志望理由･活動報告書その他出願書類により判定する）
		平和学	川野　徳幸	
		開発の人類学	関　　恒樹	
		移住の人類学	長坂　　格	
		国際政治学	吉田　　修	
		紛争解決論	掛江　朋子	
		国際関係論	SIMANGAN DAHLIA COLLADO	
		国際安全保障論	友次　晋介	
		平和と記憶学	VAN DER DOES LULI	
		平和と紛争研究	山根　達郎	
		現代人類学	中空　　萌	
	国際経済開発	出願書類として提出された「研究計画書」の内容をもって筆記試験の代わりとし判定する。		

※国際平和共生プログラムについては，志望指導教員が指定する科目を 1 つ選択すること。なお，各科目につき 2 問が出題される。「一般選抜」受験者は 2 問とも解答し，「社会人特別選抜」受験者は指定された 1 問を解答すること。

※国際平和共生プログラムの筆記試験は，原則として日本語又は英語での解答が可能であるが，「国際関係論」については英語で解答すること。

教育科学専攻

選抜の区分 / 試験科目	一般選抜，社会人特別選抜			ﾌｪﾆｯｸｽ特別選抜
	プログラム	科　　目	指導教員	
専門科目	国際教育開発	特別支援教育・インクルーシブ教育カリキュラム開発	川合　紀宗	
		スポーツ教育開発論	齊藤　一彦	
		民族言語学	佐藤　暢治	
		理科教育カリキュラム開発	清水　欽也	
		数学教育カリキュラム開発	馬場　卓也	
		高等教育開発・交流	堀田　泰司	
		実践的 ICT 利活用教育論	渡辺　健次	
		高等教育制度	大場　　淳	
		教育開発計画	谷口　京子	
		シティズンシップ教育カリキュラム開発	中矢　礼美	
		学習科学	藤木　大介	
		教師教育論	牧　　貴愛	
		幼児教育・保育と教育開発	三輪　千明	
		比較高等教育	キム ヤンソン	
		教育開発国際協力	吉田　和浩 日下部　達哉	
		ダイバーシティ・インクルージョン教育研究	櫻井　里穂	

※国際教育開発プログラムについては，志望指導教員が指定する科目を 1 つ選択すること。なお，各科目につき複数問が出題される。「一般選抜」受験者は 2 問を，「社会人特別選抜」受験者は 1 問を選んで解答すること。

※国際教育開発プログラムの筆記試験は，原則として日本語又は英語での解答が可能であるが，「比較高等教育」については英語で解答すること。

（２）口述試験

試験時間等の詳細については，筆記試験日に掲示により指示します。

２．学力検査等実施日時

［一般選抜］

2 月 14 日（水） 筆記試験（専門科目）	国際平和共生プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～11：30
2 月 15 日（木） 口述試験	国際平和共生プログラム，国際経済開発プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～

［社会人特別選抜］

2 月 14 日（水） 筆記試験（専門科目）	国際平和共生プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～10：30
2 月 15 日（木） 口述試験	国際平和共生プログラム，国際経済開発プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～

［フェニックス特別選抜］

2 月 15 日（木） 口述試験	国際平和共生プログラム，国際経済開発プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～

※筆記試験に関する注意事項

１）筆記用具（鉛筆，シャープペンシル，ペン，消しゴム）及び時計（計時機能だけのもの）のみ使用可能です。携帯電話等の電子機器類は，試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切ってかばん等に入れておいてください。上記以外のものを机上に置いている場合，また携帯電話等の電子機器類をかばん等にしまわず，身に着けていたり手に持っている場合は不正行為と判断することがあります。

２）試験開始 15 分前には試験室に入室・着席し，監督者の指示に従ってください。

３．合否判定方法及び採点評価基準

（１）合否判定方法

一般選抜及び社会人特別選抜の判定については，（２）採点評価基準に従い，学力検査（筆記試験，口述試験）の結果を踏まえ，総合的に判定します。

フェニックス特別選抜の判定については，同じく学力検査（口述試験）結果を踏まえ，総合的に判定します。

（２）採点評価基準

１）筆記試験

原則として全試験科目の総合点の 6 割以上を合格とします。なお，各試験科目の配点は以下のとおりとします。

国際平和共生プログラム・国際教育開発プログラム		
種類 科目	一般選抜	社会人特別選抜
専　門　科　目	200 点	100 点
総　　合　　点	200 点	100 点

※　国際経済開発プログラム

「研究計画書」の内容をもって，筆記試験の代わりとして判定します。

配点：100 点（一般選抜・社会人特別選抜）

２）口述試験

面接方式による口述試験の判定は，以下の 3 段階により行い，C を不合格とします。なお，口述試験には出願書類の評価を含みます。

A	非常に優れている（志望プログラムの入学に最も適当であると認められるもの）
B	優れている（志望プログラムの入学に適当であると認められるもの）
C	劣っている（志望プログラムの入学に不適当であると認められるもの）

３）総合判定

総合判定は，合格又は不合格とし，筆記試験（フェニックス特別選抜を除く。）及び口述試験の両方に合格した者を合格とします。

４．合格者の発表

2024 年 2 月 26 日　12 時（予定）

合格者には「合格通知書」及び「入学案内」を送付します。

また，人間社会科学研究科ホームページ（https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs）にも掲載します。ただし，情報提供の一環として行うものであり，公式の合格発表は合格通知書の郵送となります。

なお，本学掲示板による掲示は行いません。また，電話/E-mail 等による問合せには応じません。

VI. 入学手続

１．入学手続期間

3 月上旬の指定する期間に入学手続を行うことになります。詳細については 2 月下旬にお知らせします。

２．納入金

入学料　282,000 円

授業料（年額）　535,800 円

① 金額は 2023 年 4 月現在のものです。入学時あるいは在学中に納入金の改定が行われた場合は，改定後の金額を納入することになります。

② 入学料は入学手続時，授業料は入学後に納入することになります。納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに入学料・授業料の免除及び徴収猶予の申請方法については別途お知らせします。

③ 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

３．注意事項

（１）合格後あるいは入学後，提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合，合格・入学を取り消します。

（２）卒業（修了）見込で出願して合格した者が，入学日までに卒業（修了）できなかった場合，入学を取り消します。

VII. 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について

本研究科では，社会人等に対する教育について，修学上の便宜を図るため大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置により，次のとおり行います。

平日の夜間（18 時 40 分から 20 時 10 分まで）又は夏季等の長期休業期間中の一定期間（集中講義）に授業を開講します。

VIII. 長期履修制度について

職業を有している者，又は本学フェニックス入学制度により入学した者等を対象として，標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり，計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。

この制度による授業料は，標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。最長履修期間は，博士課程前期が4年間，博士課程後期が6年間です。

なお，この制度の詳細については，本研究科に照会してください。

IX. 独立行政法人国際協力機構（JICA）海外協力隊事業との連携による特別教育プログラムについて

本研究科では，教育科学専攻国際教育開発プログラム入学者のうち，希望者に対して特別教育プログラムを用意しています。詳細は，17・18頁をご参照ください。

２０２３年度広島大学学生募集に伴う試験成績（個人情報）の開示について

個人に関する入試情報（以下「個人情報」という）は，2023 年度学生募集に伴う本研究科の大学院入試（一般選抜，社会人特別選抜）を**受験した者（以下「開示申請者」という）に限り開示します。**

項目	開示内容
試験成績	得点　試験科目別の得点 評価　口述試験の段階評価

開示に関する手続の流れ

（１）「広島大学大学院人間社会科学研究科入試個人情報開示申請書」を次のいずれかの方法で入手してください。

①人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）へメールにて請求してください。電子媒体をお送りします。（koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp）

②返信用封筒（本人の住所・氏名を明記し，84 円分の切手を貼った定形封筒（長形 3 号封筒(120mm×235mm)）を同封し，「入試個人情報開示申請書請求」と明記の上，人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）宛て請求してください。

（２）以下の書類を同封の上，開示請求期間内に直接又は郵送により申請してください。

①必要事項をすべて記入した「広島大学大学院人間社会科学研究科入試個人情報開示申請書」

②広島大学大学院人間社会科学研究科受験票（コピー不可。開示決定通知書送付の際，同封して返却します。）なお，紛失等により提出できない場合は，運転免許証等の身分証明書のコピーを添付してください。

③返信用封筒（長形 3 号封筒(120mm×235mm)）に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を明記し，404 円切手を貼ったもの。）

なお，申請書等に不備があるときは，修正を求めることがあります。

（３）本研究科が申請を受理した日から 30 日以内に，「広島大学大学院人間社会科学研究科入試個人情報開示決定通知書」を開示申請者本人へ簡易書留により通知します。

開示請求期間

2024 年 2 月実施の入学者選抜については 2024 年 4 月 1 日から 5 月 31 日（消印有効）まで

＜試験成績（個人情報）の開示に関する申請及び問合せ先＞	
広島大学大学院人間社会科学研究科 （国際協力学系支援室）	〒739-8529　東広島市鏡山 1 丁目 5 番 1 号 Tel　082-424-5902 E-mail　koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

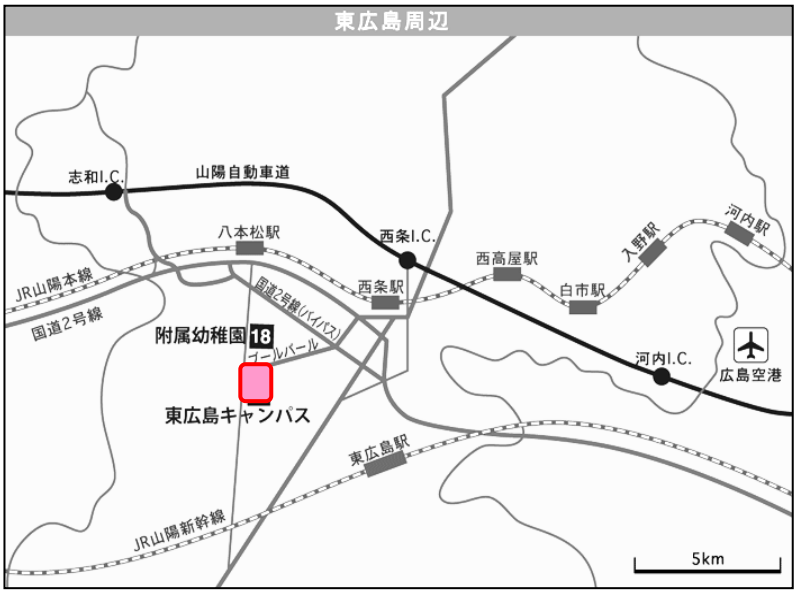
独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく開示請求及び問合せ先等

上記の入試個人情報の開示のほか，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく個人情報の開示請求制度により行うこともできます。

本制度の詳細は，本学ホームページ「トップページ」→「法人情報」 →「個人情報保護」 →「個人情報の開示請求制度」（https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/information_disclosure/personal_info）を参照ください。

＜開示請求及び問合せ先＞	
広島大学 総務グループ	〒739-8511　東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号 Tel　082-424-5014

試 験 場 位 置 図



[試験場への経路]

広島大学大学院人間社会科学研究科 (東広島市鏡山一丁目 5 番 1 号)

- JR 西条駅前からバス「広島大学」行
- 新幹線東広島駅前からバス「広島大学」行

} 「大学会館前」下車 (所要時間約 20 分)

教員一覧

人文社会科学専攻

【国際平和共生プログラム】

職名	氏　　名	担当授業科目名	研　　究　　内　　容
教　授	片柳　真理	Peacebuilding I, Peacebuilding II, Law and Human Rights	紛争解決論，平和構築，平和維持，紛争予防，国際人権法
教　授	川野　徳幸	Hiroshima Peace Studies I, Hiroshima Peace Studies II	平和学，原爆被爆被害研究，グローバル核被害研究
教　授	関　　恒樹	Basic Cultural Anthropology II, Contemporary Anthropology II	開発・社会政策・平和の文化人類学的研究，フィリピンを中心とした東南アジア地域研究
教　授	長坂　　格	Contemporary Anthropology II	社会文化人類学，移住研究，東南アジア研究
教　授	吉田　　修	International Politics I, International Politics II	先進国が築き上げてきた既存の国際秩序と，途上国の外交政策との間の相互作用の分析
准教授	掛江　朋子	Conflict Resolution I, Conflict Resolution II	紛争解決論，国際法に関する研究
准教授	シマンガン　ダリア コリャード	Peace, Conflict, and the Environment	国際関係論，平和構築理論，国連平和構築活動，平和と持続可能性の連携，人新世
准教授	友次　晋介	International Security I, International Security II	核拡散，大量破壊兵器（WMD）の拡散，テロリズム，非伝統的安全保障に関する研究
准教授	ファン･デル･ドゥース　ルリ	Hiroshima Peace Heritage I, Hiroshima Peace Heritage II	言説と表象の分野横断型実証研究，記憶学　（紛争と平和），原爆ひばく体験継承，応用リスク論
准教授	山根　達郎	Peace and Conflict Research I, Peace and Conflict Research II	平和と安全保障，武力紛争，平和構築，グローバル・ガバナンス
准教授	中空　　萌	Basic Cultural Anthropology I, Contemporary Anthropology I	環境と開発をめぐる人類学，科学技術社会論，インドを中心とした南アジア地域研究

【国際経済開発プログラム】

職名	氏　　名	担当授業科目名	研　　究　　内　　容
教　授	市橋　　勝	Economic Statistical Analysis	アジア経済の数量的比較分析，国際地域経済分析，産業構造の発展分析，日本経済論・経済政策論，経済統計分析論
教　授	金子　慎治	Environmental Policy	途上国の持続可能な発展に関する研究 アジア地域の環境政策に関する研究

職名	氏　　名	担当授業科目名	研　　究　　内　　容
教　授	△マハラジャン，ケシャブ・ラル	Rural Development International Cooperation	農村経済論－農業経済，農村の現実と変容に関する諸問題 南アジア研究－近現代における社会経済の構造と変容
教　授	吉田　雄一朗	Development Macroeconomics I Development Macroeconomics II	最適な社会資本とその実現に必要な公共政策についての分析 開発途上国のマクロ経済的比較分析
教　授	後藤　大策	Development Microeconomics I Development Microeconomics II	開発と環境の政策研究のための応用ミクロ経済学 開発と環境経済学における実験室実験とフィールド実験
教　授	シャリフィ　アユーブ	Urban Policy	都市計画及び都市政策，環境計画及び環境管理，気候政策，持続的な都市
教　授	高橋　与志	Human Resource Development	人的資源開発・管理論，技術経営論，中小企業経営論
准教授	ジョシ　ニラズ　プラカシュ	Agriculture Production Economics	気候変動，農業技術，農業経済，農村開発に関する研究
准教授	近藤　雅征	Remote Sensing for Social Sciences	気候変動対策評価，温室効果ガス動態解析，熱帯地域における土地利用変化研究，地球の気候調整に関する理論研究 モデルシミュレーション，リモートセンシング、さまざまな統計データを駆使し，上記の研究を国，亜大陸，全球などの広域スケールで行っている。
助教	カロ　バーネット　ヨハン	Game Theory Public Economics	政治経済，投票行動，国際協定，平和と紛争 行動経済学，実験経済学，開発経済学
助教	ハーン　グラム　ダスタギール	Arts & Science for Evidence-Based Decision Making Applied Econometrics I	開発政策の社会・経済的インパクト評価

教育科学専攻

【国際教育開発プログラム】

職名	氏　　名	担当授業科目名	研　　究　　内　　容
教　授	川合　紀宗	Inclusive Education	特別支援教育，インクルーシブ教育，ソーシャル・インクルージョンの理論，制度及び実践に関する研究
教　授	齊藤　一彦	Sport Education and Development	体育・スポーツを通じた国際開発，国際比較スポーツ教育
教　授	佐藤　暢治	Culture for Ethno-Languages	中国甘粛・青海省のモンゴル系諸言語における民族言語学的研究
教　授	清水　欽也	Foundation of Curriculum Development for Science Education	途上国における理科教育国際協力・科学教育に関する教育研究及びその他教科の授業開発・分析

職名	氏　　名	担当授業科目名	研　　究　　内　　容
教　授	馬場　卓也	Mathematics Education Development	数学教育開発論の国際的展開に関する研究及びその他教科の授業開発・分析
教　授	△堀田　泰司	Development of Higher Education	途上国における教育開発政策の比較研究，国際的高等教育交流に関する研究
教　授	吉田　和浩	International Cooperation in Education	国際教育協力に関する実践的・開発的研究
教　授	渡辺　健次		実践的ICT利活用教育，情報ネットワークの教育への応用
教　授	中矢　礼美	Global Citizenship Education	地域に根差したカリキュラムの開発及びそのマネジメントについての比較研究，比較教育学
教　授	日下部　達哉	Comparative Education in Developing Countries	発展途上国の社会・経済構造と教育との関係を比較の視点からアプローチする研究
准教授	大場　淳	高等教育基礎論II （制度・政策） Higher Education in Japan	高等教育の制度や政策に関する理論や実践並びに国際比較 日本の高等教育の概論
准教授	櫻井　里穂	Basic Education and Development	比較国際教育・教育政策・インクルーシブ教育・ダイバーシティインクルージョン研究
准教授	谷口　京子	Planning for Educational Development I・II	低・中所得国（アフリカやアジア地域）における教育開発計画や教育政策に関する研究
准教授	藤木　大介		学習科学，認知心理学，知識構成，言語心理学
准教授	牧　貴愛	Human Resource Development for Education	アジア諸国における教育人材開発（教師教育），比較教育学
准教授	三輪　千明	Development of Early Childhood Care and Education I・II	途上国における幼児教育の効果に関する研究，保育分野の国際協力
准教授	キム　ヤンソン	Comparative Studies in Higher Education	比較教育，国際教育，及び開発教育の観点から高等教育を分析する

注）　△印は，標準修業年限内に退職等が予定される教員であるので，この教員を指導教員として志願する者は，出願時に人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）に問い合わせること。

注）　募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には，人間社会科学研究科ホームページに掲載するので，相談前にあらかじめホームページを確認すること。

（独）国際協力機構（JICA）海外協力隊事業との連携による

ザンビア特別教育プログラム

広島大学大学院人間社会科学研究科教育科学専攻国際教育開発プログラムは，設置目的である「開発途上国の諸課題の解決に取り組むことができる高度専門職業人の育成」の一環として，独立行政法人　国際協力機構（JICA）の海外協力隊事業と連携した特別教育プログラムを開設しました。この特別教育プログラムは，学生が，博士課程前期に在籍しながらJICA海外協力隊員（JOCV）として2年間派遣国で活動し，この間も指導教員及び本研究科教員の指導を受け，開発協力現場での実践を通じて，開発協力に関わる人材としての資質・能力を高めることを目的とするもので，その概要は以下のとおりです。

１．特色

この特別教育プログラムは，上記の目的を達成するために，次のような内容のプログラムを組んでいます。

（１） JOCVとしてザンビア国に赴き，主として現地の学校において授業実践・教材開発にあたりながら，教育分野における国際協力，開発途上国支援のための活動に従事します。

（２） 現地でのJOCV活動と並行して，本研究科教員の指導を受け，帰国後に現地で学んだ教育協力の理論と実践の成果を修士論文にまとめることで，修士の学位が取得できます。

（３） 指導教員並びに本研究科教員の指導に加え，集中講義等の活用により，JOCV参加期間を含め，標準の課程として3年6か月で修士課程を修了できます。

２．目標とされる人材像

この特別教育プログラムは，次のような人材の養成を目指します。

（１） 国際機関における教育開発部門のスペシャリスト

（２） 開発援助機関における教育開発部門のスペシャリスト

（３） 国際交流，国際協力の専門知識を兼ね備えた教師，教育関係者

（４） 国や自治体における国際交流企画のスペシャリスト

（５） 国際開発NGO等で活躍できるスタッフ

３．教育期間

この特別教育プログラムの標準教育期間は，3年6か月（海外派遣と国内事前訓練を含む。）です。

単位修得については，JOCV参加期間に，プログラム専門科目等の単位が修得可能です。また，残りの必要単位は，JOCV参加前の1セメスターと帰国後の1セメスターで修得します。

なお，不測の事態により，海外派遣が困難な場合は，変更の可能性があります。

４．学生の身分

この特別教育プログラムの学生は，本研究科の在学生としてJOCVに参加します。したがって，現地でJOCV活動に従事しながら，同時に遠隔地在住学生として，指導教員を中心に本研究科教員の指導を受け，指定された単位を修得することができます。

なお，本特別教育プログラムの対象学生は，日本国籍を有し，国際教育開発プログラムを希望する者に限ります。

５．JOCV活動の派遣先及び内容

この特別教育プログラムの学生は，ザンビア国内の小学校又は中等学校に派遣され，英語もしくは現地語によって理科又は数学科の教師として指導することになります。その他，JOCV派遣中の待遇及び活動の詳細については，JICA海外協力隊募集要項等を参照してください。

６．募集条件

（１）定　員

博士課程前期国際教育開発プログラムの学生　若干名

（２）JOCV選考試験

特別教育プログラムを希望する学生は，JOCVの募集選考を受験しなければなりません。JOCV応募は入学の前後どちらでも可能ですが，派遣前に1セメスター以上大学院に在籍する必要があります。なお，JOCVに不採用の場合は，一般学生と同様の履修期間，教育課程となります。

（３）期待される受験生

ア．国際協力活動と大学院進学の両方を志望する学部卒業生（教育職員免許状取得者が望ましい）。

イ．国内での経験を海外で活用しながら学位取得を目指す教員経験者。

ウ．国際協力に関心があり，さらに知識，技術を高めて国際協力活動を行おうとする者。

エ．より効果的な国際協力を求めて再度海外での活動を希望する国際協力実務経験者等。

（４）プログラムへの登録など

登録希望者は入試面接時又は入学後に指導教員を通じて申請を行ってください。

７．お問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科(国際協力学系支援室)
〒739-8529　東広島市鏡山1-5-1
TEL　082-424-5902
FAX　082-424-6904

電話番号については，市外局番が同じ地域がありますが，以下の地域については，市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。
（広島市，安芸郡府中町，海田町，熊野町及び坂町の各地域）

特別教育プログラム専用問い合わせメールアドレス
intlscim@hiroshima-u.ac.jp

ザンビア特別教育プログラムホームページ
https://intlscim.hiroshima-u.ac.jp/zampro.html

国際公務員育成特別教育プログラム

国際公務員育成特別教育プログラム

https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/civil

広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム，国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム），先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）及びスマートソサイエティ実践科学研究院では，将来のキャリアとして国際公務員を志望する学生を対象に「国際公務員育成特別教育プログラム」（YPPCIO プログラム）を実施します。

目的

国際機関等の国際協力・開発の現場で，専門的な知識と同時に実務的な経験を備え，主導的役割を担うことのできるリーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 通常のカリキュラムで修得できる自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え，本プログラムの必修科目の履修等により国際公務員として国際協力・開発の業務に携わるために必要な実践的な知識・ノウハウを得ることができます。
- ✓ 主任指導教員に加え，キャリア開発のためのプロフェッショナル・メンターが配置されます。
- ✓ 国際機関をはじめとする国際協力・開発の第一線で活躍する講師を招いた勉強会やセミナーなどに参加することができます。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には，修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの博士課程前期学生であれば，本特別教育プログラムに応募できます。選考は入学後に行い，応募者の中から書類審査によりプログラム登録学生を決定します。詳しい情報は入学後に「もみじ」掲示板で案内します。

お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究科
大学院先進理工系科学研究科
大学院スマートソサイエティ実践科学研究院
(国際協力学系支援室)
＜国際公務員育成特別教育プログラム担当＞
e-mail : koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

国際環境リーダー育成特別教育プログラム

背景

近年，地球温暖化，生物多様性の減少，砂漠化の進行，発展途上国の公害問題など，人類の生存基盤にかかわる深刻な地球環境問題に関する広範な知識や解決策に向けた分析力は，国際開発や国際協力のあらゆる分野において必要となる基本的な専門性となりつつあります。こうした専門性を身につける追加的な教育機会を提供するために，広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム，国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム），先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）及びスマートソサイエティ実践科学研究院では，「国際環境リーダー育成特別教育プログラム（GELs プログラム）」を実施します。

目的

GELs プログラムでは，複眼的，国際的視野で国や地域が直面する課題を見出し，戦略的解決策を設計できる環境リーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 持続可能な社会を構築するために必要な，自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え，様々な分野の第一線で活躍する専門家から，学際的知識を得ることができます。
- ✓ 様々な専門や経験を持つ学生と共に学習し，高いコミュニケーションスキルを修得できます。
- ✓ GELs プログラムの学生向けのセミナーやインターンシップ・フィールドワークなどの取り組みがあります。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には，修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの学生であれば，国籍に関わらず本プログラムに登録できます。
登録時期は，4 月と 10 月の年 2 回となります。

お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究科
大学院先進理工系科学研究科
大学院スマートソサイエティ実践科学研究院
(国際協力学系支援室（GELs プログラム担当))
e-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/gels